

平成28年度第3回尾張旭市地域公共交通会議 会議録

1 開催日時

平成29年2月21日（火）

開会 午前10時30分

閉会 午前11時15分

2 開催場所

市役所 講堂1

3 出席委員

伊豆原 浩二、朝日 茂、齋場 賢宜、寺田 千珠子、大坪 和子、成瀬 史宣、  
近藤 博之、横田 太（代理出席）、高木 秀知、多田 直紀、松本 謙治、  
杉本 忠久（代理出席）、石屋 義道（代理出席）、松本 光司、長江 均  
計15名

4 欠席委員

古田 寛、高木 秀知、仙石 忠広、 計2名

5 傍聴者数

4名

6 出席した事務局職員

都市計画課長 出口 哲朗

都市計画課長補佐 伊藤 秀記

都市計画課副主幹 大谷 健司

7 議題等

- (1) 市営バスのルート変更及び停留所位置の変更について
- (2) 名鉄バスの路線新設について

8 会議の要旨

**あいさつ**

（事務局）

本日は、お忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。定刻となりましたので、ただいまから、平成28年度第3回尾張旭市地域公共交通会議を開催させていただきます。

まず、具体的な内容に入ります前に、今回、新たに会議の構成員として加わっていただきました方のご紹介をさせていただきたいと思います。

お手元の資料の「次第」の次にございます「構成員名簿」をご覧ください。

昨年8月まで構成員を務められました渡邊鎮夫（わたなべしずお）様の後任として、昨年12月19日から今年の1月20日までの間、公募委員を募集しました結果、名簿の上から5段目にございます、大坪和子（おおつぼかずこ）様が新たに会議の構成員にご就任いただきました。

また、人事異動により名簿の上から16段目にございますが、愛知県守山警察署か

ら、松本光司（まつもとかうじ）様も新たに会議の構成員にご就任いただきました。

お二方とも、よろしくお願いいたします。

なお、本日は、代理出席の方や欠席の方もお見えになりますが、ご覧の名簿に記載してございますので、恐れ入りますが、名簿にてご確認のほどをよろしくお願いいたします。

それでは、次第に従い会議を進めさせていただきたいと思えます。伊豆原会長、よろしくお願いいたします。

#### **(会長)**

みなさん、こんにちは。ここからは私が、次第に従って進行を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。それでは、議題1の「市営バスのルート変更及び停留所位置の変更について」事務局から説明してください。

### **(1) 市営バスのルート変更及び停留所位置の変更について**

#### **(事務局)**

都市計画課の伊藤です。よろしくお願いいたします。

それでは、本日の議題の「市営バスのルート変更及び停留所位置の変更について」ご説明させていただきます。

なお、その前に事前に皆様に送付させていただきました資料の確認をさせていただきますと思えます。

まず初めに「次第」がございまして、次にただいまご覧いただきました「尾張旭地域公共交通会議構成員名簿」、「配席図」がございまして。

そして、資料1、A3用紙で「愛知医大バスロータリー供用に伴う市営バスの停留所位置及びルート変更について」ですが、誠に申し訳ありません、一部追記及び修正がありましたので、本日、机上に配付しております「資料1（修正）」に差し替えていただきますようお願いします。

次に資料2、「停留所の移設について」がA4で1枚、資料3、A4横で「H29.4.1名鉄バス新設・再編路線図」が1枚、資料4、A4で名鉄バス様により新たに運行される「愛知医科大学病院線」の路線図が1枚の計4枚でございます。

また、追加資料としまして「市営バス平成28年4月から平成29年1月の利用状況」を机上に配布しております。

以上が本日の資料でございますが、皆さま、資料に不足はございませんでしょうか。

それでは、議題「市営バスのルート変更及び停留所位置の変更について」担当より説明させていただきます。

それでは、「市営バスのルート変更及び停留所位置の変更について」について説明させていただきます。

まず資料1「愛知医大バスロータリー供用に伴う市営バスの停留所位置及びルート変更について」の1「愛知医大バスロータリー位置図」をご覧ください。

現在愛知医大の中央棟西側におきまして、バスロータリーが整備中でございます。このロータリーの供用に合わせ、現在、愛知医大へ乗り入れております本市の市営バスや名鉄バス様、長久手市のNーバスや瀬戸市コミュニティバスの停留所がこのロータリー内に変更になります。

下の2「ロータリー内停留所位置」をご覧ください。

あさぴー号を含め、Nーバスと瀬戸市コミュニティバスがロータリーの北東にある停留所にて乗降となります。その他ロータリーの南東側は名鉄バス様の降車場、西側及び南側は乗車場となり、中央の島には待機場が設けられます。なお、「将来スペース」は、今後の状況により停留所として予定されるスペースとなります。

利用者につきましては、コミュニティの停留所と降車場で降りいただき、図の南東から中央棟入り口に入るという流れになります。

ロータリーの待合環境としては、図にあるとおりロータリーを囲うように屋根が設置される予定です。

資料の右、3「停留所位置及びルート変更」をご覧ください。

(1) 変更年月日ですが平成29年4月1日土曜日の1便からとなり、

(2) 停留所及びルートですが、現在中央棟入り口の前に停留所がありそこまであさぴー号が行っていましたが、変更後は池の周りを進む途中からロータリーに向かう形となります。これにより、現在、一般車両とバスが駐車場や入口方面に向かって1か所に集中しておりましたが、動線が分かれることとなり、スムーズに停留所に向かうことが予想されます。

(3) 路線延長ですが、西ルートで23.9km、東ルートで23.8km、左回り9便は22.7kmとなり、0.6km短縮されます。

しかし、(4) 時刻表につきましては変更なしとなります。これは、今年1月4日のダイヤ改正におきまして、今回の停留所位置及びルート変更を踏まえて調整を行ったことによります。つまり、予め、1月4日にはキツめのダイヤとして、4月の距離短縮でちょうど良い状態にしておいたということでございます。なお、それでも早着する場合は、ロータリー内中央の待機場や北側にある将来スペースを利用して時間調整を行います。

(5) 利用者への周知ですが、3月以降愛知医大停留所や市役所待合室、バスの車内に貼り紙をして周知を図ります。

次に4「愛知医大バスロータリーからの乗継」ですが、このロータリーからは名鉄バス様のほか、長久手市のNーバス、瀬戸市コミュニティバスが運行されており、ここに記載しております方面、停留所に行くことができます。次の議題にて触れますが、名鉄バス様が尾張旭から医大経由で長久手古戦場駅まで路線を新設することにもなりますし、さらに長久手古戦場駅から日進の赤池まで接続します。長久手市内運行のNバスや瀬戸市の南側を運行しております瀬戸市コミュニティバスもありますので、愛知医大ロータリーの供用に合わせ、ぜひ利用していただければと思います。

それでは、議題の「市営バスのルート変更及び停留所位置の変更」についてもう1

点、資料2をご覧ください。

西ルート右回り「名古屋産業大前停留所」についてです。

現在の停留所が交差点から近いことから多度神社前交差点を右折する際、急角度による右折帯への車線変更が必要でした。また、信号待ちの車両が並んだ場合、車線変更が困難であり、青信号で車両が全て無くなるまで待機することがありました。そのため、西へ約50m移設いたします。この位置であれば、スムーズに車線変更が可能となります。

なお、移設は平成29年4月1日を予定しています。

事務局からの説明は以上でございます。

(会長)

以上事務局からあさび一号のルート変更などについて説明が終わりましたが、何かご意見、ご質問などはありますか。

(構成員)

資料1、愛知医大の「停留所位置及びルート変更」について、変更後の図で、直線で停留所まで入る道は、路線バス専用ですか、それとも一般車両も入ってきますか。

(事務局)

基本的にはバス専用になると思います。

(会長)

駐車場とは分離されるということですか。

(事務局)

はい、一般の駐車場とは分離されます。ルートが分離されるので一般の車両は入ってきません。

(構成員)

タクシー協会の多田と申します。

一般車両とタクシーの路線が青い線で書かれていますが、タクシーに対する案内がどうなっているか、タクシーの乗り場がどのような所にあるのかを確認をしたいという事、もう一つ、あさび一号時刻表について、乗り場の位置がきちんと書かれており、分かりやすいと思ったのですが、タクシーの乗り場の記載についても今後ご検討いただければと思います。

(事務局)

おそらく、タクシー乗り場は今と変わらないということで、愛知医大さんからは案

内がっていないのかもしれませんが。バスの乗り場が変わる事と併せてタクシー会社さんの方にも愛知医大さんから案内していただくよう、私どもの方からも依頼をさせていただきます。

あと、もう一点の今の時刻表についてですが、タクシー会社さんの乗り場の位置などが、時刻表に書かれていないということでしょうか。乗り場の位置であれば、載せることは可能だと思います。

(構成員)

会社名ではなかなか難しいとは思いますが。

(事務局)

実は、会社名も載せさせて頂こうかと思い、タクシー会社さんと時刻表を作る際に調整させていただきましたが、どのタクシー会社を記載するか調整が難しく、作成の段階で断念した経緯があります。

ただ、この折りたたんだ裏面に、あさび一号の問い合わせ先と併せて名鉄電車、名鉄バス、名古屋市営バスの問い合わせ先も記載しました。それで、ここにタクシー会社さんの連絡先も載せると利用者さんは非常に便利かと思しますので、もし多田さんの方で調整をしていただければ、このようなところに載せる事も可能ですので、要請がありましたら相談していただけるとありがたいと思います。

(構成員)

基本的に個別の会社のPRについては、市の場合もそうですが、協会の場合も難しいと考えております。他の市町さんでは乗り場の位置だけでもご案内いただくということが行われておりますので、そういった方向で進めていただければと思います。

(事務局)

分かりました。

(構成員)

他の市のコミュニティバスも乗入れているので、調整されていると思いますが、愛知医大ロータリーの待合環境等の施設は、愛知医大さんが全部整備されるのですか。

(事務局)

おそらく細かい部分は愛知医大さんと名鉄バスさんで調整し、停留所の位置などを相談しながら整備されたかと思えます。

(構成員)

運輸支局の杉本です。関係者で協議していただいて、医大関係については手続きを

進めて頂いているかと思いますが、こちらについても関係事業者さん経由で手続きをお願いします。

また、今回は名古屋産業大前の停留所の移設とありますが、これによって運賃の変更はありませんか。

(事務局)

1乗車定額100円ということで変更ありません。

(会長)

国の補助を受けている路線なので、路線延長の部分が変わる申請の手続きをお願いします。

(構成員)

資料1の図、ロータリー内停留所位置について、図とは停留所配置が逆になるというような予定です。

あと、補足ですが、基幹バスにつきまして、栄、名鉄バスセンターと瀬戸行きとありますが、瀬戸行きに関しては、栄、名鉄バスセンターを走っている基幹バスのように大きなものではなく、少し小ぶりのバスになる予定です。

(会長)

他になにかありませんか。

それでは、引き続きまして議題2の「名鉄バスの路線新設について」事務局から説明してください。

## (2) 市営バスのダイヤ改正について

(事務局)

「名鉄バスの路線新設について」ですが、先ほどの議題でも触れましたが、愛知医大ロータリー整備に合わせ、尾張旭市内から愛知医大を経由し長久手古戦場駅まで行く路線を新設され、また、現在、市内の国道363号で運行されている瀬戸駅前から藤が丘への路線についても愛知医大を経由するとして、資料3及び資料4を名鉄バス様からご提供いただきました。

それでは、資料の詳細につきましては、名鉄バスの近藤様から、ご説明のほどよろしく申し上げます。

(構成員)

名鉄バスの近藤です。

資料3と資料4ですが、まず資料3で全体の概略についてご説明させていただきます。

愛知医科大学に名鉄バスとしてどうアクセスをしていくかですが、藤が丘から緑の

太いラインが出ています。それがずっと回りこみ、医科大学病院に入っていきます。

それともう一つ実線の赤いラインの2路線で愛知医科大学病院へアクセスをしているのが今の状況です。あと、そのほかにも青いライン、名鉄バスセンター、栄とありますが、そちらの方から基幹バスといわれるものが愛知医大へ乗り入れています。

そして、このあと4月1日からどうなるかといいますと、まず一つが、今現在、瀬戸駅前から藤が丘までまっすぐと医科大学病院へ入らずに運行しているラインが、朝と夕方のラッシュ時の一部を除きまして、医科大学病院の方へ乗り入れる状況になります。

もうひとつ、尾張旭向ヶ丘から長久手古戦場を結んでいるピンクの太いラインがありますが、こちらが大学病院に乗り入れ、長久手古戦場に向かっていきます。

これにより、今現在、愛知医大からは名鉄バスセンター行きと藤が丘行きが弊社路線であるものが、この4月からは長久手古戦場行き、尾張旭向ヶ丘行き、瀬戸駅前行きがラインナップに加わります。詳細につきましては資料4をご覧ください。

資料4は先ほどの尾張旭向ヶ丘から長久手古戦場を結ぶラインについて少し細かく書いたものです。こちらの尾張旭向ヶ丘ですが、今は基幹バスの終点でも利用させていただいています。そこから始発となりまして尾張旭駅へ、そして横の市役所をかすめて南下し、長久手高校北を直進してから医科大学病院の方へ左折して東へ向かい、本館前道路を経由して回りこむ形でターミナルの方へ入ります、そしてターミナルから直進して西の方へ出て参りまして、そのまま隅田を通り、長久手の消防署の横を通って古戦場の方へ向かっていくというルートです。

こちらは基本的に1時間1本で、1日15往復運行となっております。これについては、現在似たようなラインで医科大学さんのスクールバス、無料の送迎バスが運行しているかと思いますが、少しそれと置き換わりながら運行していくということになります。有料化ということで少し厳しいと思いますが、スタートダッシュが切れるように周知等一生懸命していきたいと考えておりますの、皆さんも周知の方ご協力をよろしく申し上げます。

(会長)

ありがとうございます。ただいま名鉄バスさんから路線についての説明がありましたが、質問などなにかありますか。

(構成員)

先程、資料1の中で瀬戸行きは少し小さいバスだとか説明をいただきましたが、それは基幹バスということで栄や名駅のバスセンターから小さいバスが出るということですか。

(構成員)

いえ、違います。我々の括りとしましては、先程の藤が丘から瀬戸に行くラインを

基幹バス、本地ヶ原線としておりまして、その括りになりますので、そういう意味では基幹バスの範疇に入ってしまう為に混乱しかねないなとは思いますが、基本的に瀬戸駅前から藤が丘へ行くバスについてはは基幹バス仕様ではないです。

(構成員)

愛知医大のところについて、オレンジの矢印が付いているところは来る時と帰る時とで道が違うということですか。

(構成員)

そのとおりです。南に行く時と北へ上がる時では別の道を通ります。南に下がる時は、長久手高校北から下へ動いていき、北へ上がって行く時は新設の長久手高校東門を通るルートで戻ります。

(会長)

今の維摩池バス停を森林公園南門と名称変更していただくことになります。これで、古戦場へ乗り換えなしで行けるルートができます。

先程少し、古戦場から赤池まで行けるとお話しがありましたが、日進市のコミュニティバスに中央線という赤池から古戦場へ行く路線がありますが、これが今度は新しく名鉄バスさんの路線バスとして4月1日から開設されます。ですから、長久手古戦場から日進の赤池の駅まで、古戦場で乗り継ぎをして行けるようになります。これで南北の交通移動がしやすくなります。後はこの先、赤池から向こうには東郷町や豊明がありますが、そこについて議論はされているようですが、ここから先はまだこれからという状況です。

(構成員)

市役所から古戦場までの運賃はいくらですか。

(構成員)

市役所から愛知医大までは180円、市役所から古戦場までは360円の予定です。現在そのように申請しているところです。

(構成員)

運輸支局の杉本です。先程、先生からのお話にもあったように、尾張旭の東西軸は幹線として名鉄瀬戸線などが走っていますが、南北軸がこれまでなかったということで、南北移動に対しての要望があったのかと思います。今回、名鉄バスさんのご協力で、愛知医科大学や長久手古戦場を拠点とて南北軸が繋がっていくという形であられたのは非常に良いことだと、私どもは思っております。是非、これを皆様方で育てていただきたいと思います。

昨日、別の会議に参加しまして、その会議で市民アンケートを実施したところ、他市に行く場合、どこの施設に行きたかという質問に、〇〇市の△△の施設に行きたいとか、□□病院へ行きたいとか、ショッピングセンターに行きたい等の要望がありました。そこのバスのバスマークを見ると◎◎のバスに乗り換えられるという案内がありまして、これのあとにこの施設に行けるという発見があるわけです。このように、これに乗ってこう乗り換えると、この施設に行けるという案内をすると、利用しやすいとなってくるのかと思います。ぜひ上手く活用していただきながら地域の交通ネットワークをいいものにしていければと思います。

(会長)

ありがとうございます。ぜひ、皆で路線の活用、というよりむしろ皆で乗って利用をするのがいいかと思います。

周知は、名鉄バスの路線新設は認可されてからですか。

(構成員)

今、路線開設の認可、併せて運賃の申請をしております。

(会長)

しかし、皆さんに新しいバス路線ができる話をどんどんしていただいた方がいいと思います。ぜひ周囲の方にこのようなバス路線ができる、おおよそ180円ほどで愛知医大まで、長久手古戦場までは360円ほどで行けそうだという話題をしていただくと大変いいと思います。

(構成員)

資料3の「尾張旭30」「瀬戸24」というのは、おそらく愛知医科大学病院行きの発着の便数の合計値なのかと思うのですが、左の「99」という大きな数字は何ですか。

(構成員)

平日の運行ですが、これはバスセンター、もしくは瀬戸、藤が丘、医大行きの走る本数のトータルの数です。

(構成員)

名鉄バスには現在向ヶ丘行きがありますが、あれはどのようになりますか。

(構成員)

無くなりませんがみどりが丘経由に変更します。

(構成員)

名鉄バスは車いすも乗り降りできるような、いわゆるノンステップ車両、バリアフリー車両ですか。

(構成員)

必ずしも、ノンステップ車両ということではありません。

(構成員)

長久手のショッピングセンターに行くのに、ノンステップ車両があるといいと思います。

(会長)

長久手に行く南北線の車両もノンステップ車両にして皆さんにご利用いただけるといいですね。

(構成員)

周知についてですが、南北線（愛知医科大学線）につきまして4月1日から運行開始ということで、運行開始前からなんとか皆さんに、ここを走っており、長久手のイオンまで行けるという事を知ってもらわないとどうしようもないので、まずは周知をかけていきたいと思います。路線の存続の為でもあるので、ご協力をお願いします。

まずはいつも通り新聞の折り込みをし、近隣に対しての周知を行います。今回はグレードを上げて業務用の地図の様なものにし、資料3の地図の太いラインの時刻表も全部付ける予定です。今回の折り込み部数は未定ですが、以前に医科大学線が運行開始した際には約3万部を折り込みました。

そして、学校関係への周知ですが、愛知医科大学や長久手高校の新生説明会等で学生に案内をする予定です。

それに加え、フリーペーパー「AN-JU東海」にこの新規路線開設の案内、バス停周辺施設等の紹介を掲載予定しております。あとは、長久手市の公共交通の情報誌3月号にも記載していただいています。

ホームページについては、名鉄バスのホームページには勿論、医科大学病院さんのホームページでも新規路線の案内を予定しています。イオンモール長久手の方はこれからと計画しております。

ぜひ、ご協力をよろしくお願いいたします。

(構成員)

長久手のアピタには行きませんか。

(構成員)

はい。こちらの路線は今まで走っていなかったこともあり、需要の関係から、こちらの方がいいのでは、という結論になりました。

(会長)

印場の方は名古屋市営のバスがありますが、今まで尾張旭から藤が丘に行く路線がありませんでした。このようなルートができて、藤が丘に行きやすくなることによって、通いやすくなる高校もあるのではないかと思います。それによって、これから高校に進学しようとする中学生の高校選択の幅が広がるのではないかと思います。

尾張旭には3つの中学校がありますが、中学校に路線新設などの情報は伝わっていますか。こういう風に行くことができるという情報を中学生や保護者に話ができる選択が広がっていいのではないかと思います。そのようなことを教育委員会の方を通していただくよう、事務局にお願いしたいと思います。

それでは、引き続きまして次第の3「その他」に移りたいと思います。事務局から説明してください。

その他

(事務局)

それでは、昨年4月に運行内容を変更してからの利用状況等について、本日も配りました、追加資料にて説明させていただきます。

まず、一番上の表ですが、上段に平成28年度下段に平成27年度の各月別、ルート別の利用者数を記載しており、表の下には28年度と27年度の差を記載しております。表の一番右側計をご覧ください。平成28年度は166,614人、平成27年度は131,360人で35,254人、率にすると26.8%増えております。なお、平成27年度1年間で157,319人なので、既に1年間の利用を超えている状況です。

この推移で行きます、と平成28年度は20万人に届くかどうかという状況となります。

2つ目の表につきましては、運行内容変更に合わせ、新たに導入した定期券の販売枚数及び定期券による利用者数の延べ人数を示しており、1月までに計248枚、9,151人の利用となっております。

3つ目の表は回数券の販売枚数で、1月までに6,294冊、昨年より883冊増加しており、16%の増加となっております。

最後に参考ですが、現在運転免許自主返納をした方に対して市から記念品として、あさび一号の回数券を交付しており、その交付者数を載せております。今年度は見込ではありますが、153人とのことです。増加の要因としては昨今の報道などで「高齢者が運転する自動車の事故」が取り上げられており、これらを受けて、免許を自主返納されているかたが増えていると考えられます。

次に今年1月に遅延対応としてダイヤ改正を行いました。ダイヤ改正後の運行状況について、豊栄交通様よりご報告をお願いします。

(構成員)

豊栄交通の横田でございます。

では、追加資料2 運行状況について、先程ご説明のありました通り遅延の状況がこちらです。概要としては、ダイヤ変更後、全体で約90%の遅れが解消されています。下の表の一番下を見て頂きますと、昨年12月に合計234件遅れがあったものが、今年1月は21件まで減り、大変効果がでています。これに伴い、昨年までほとんど毎日、利用者の方々からいただいていた多くのお問い合わせが、ほぼ無くなりました。

とはいえ、若干の遅れは出ています。しかし、ここに記載のあるような通常の一般的交通渋滞によるもののため、この分を除けば、ほぼ遅れは解消されているという状況です。

かなり効果があったということで、利用者の方から、お礼といいますか感謝のお言葉をいただいております。

(事務局)

最後に「愛知県の地域公共交通」のこれからを考える！について簡単に説明をお願いします。

(構成員)

愛知県の交通対策課です。

シンポジウムのご案内です。愛知県では愛知公共交通ビジョンを本年3月に策定し、ビジョンの中心にあたり国や県、市町村と交通事業者さん、地域住民の関係者の方、地域住民の方々による、連携・協働によって公共交通の活性化を図っていく必要があるということから、このたび公共交通の大切さや市町村を超えた広域連携の重要性を皆様にご紹介するシンポジウムを開催させていただきます。

基調講演としまして、名城大学の松本教授を講師にお招きし、これからの愛知県の公共交通の進むべき方向についてお話していただいた後で、公共交通の広域連携のあり方について、関係の方々をパネリストに意見交換をしていただきます。関係の方と申し上げましたが、コーディネーターで伊豆原先生に来ていただき、パネリストで運輸支局の杉本主席、名鉄バスの近藤取締役にも、まさにこの関係者の方にも出ていただき、パネルディスカッションをしていただくという内容になっておりますので、ご参加のほどよろしく願いいたします。

(会長)

ありがとうございます。「その他」で何かご意見、ご質問などありますでしょうか。

(構成員)

追加資料2、右側のダイヤ変更後の9便で20分以上の遅延が西ルートの右、左ともに1回ずつありますが、原因は分かっていますか。

(事務局)

9便は、夕方5時6時台以降から運行するものなので、ちょうど帰宅時間等で交通集中が起こるため、それに伴う渋滞に因るものとなっております。

例えば西ルートについて、晴丘の交差点の辺りに北へ行く車がかなり並んでいます。その中に、あさび一号も入ってしまうため、晴丘の交差点を越えるまでで渋滞にかけると、なかなか動けないという状況です。東ルートについては、イトーヨーカドーの辺りが、やはりこれも北へ行く車が多く、それに伴い遅れが出てくるという状況になっています。

(構成員)

慢性的な渋滞で遅延がおこるということで、解決策はなにかありませんか。

(事務局)

最終便だけ、ルートや停留所を変える事も難しく、遅延も毎回毎回という頻度ではないので、今は少し状況を見ていきたいと思っています。

(会長)

交通の流れからすると、渋滞は朝の方がひどいと思われがちですが、実際は夕方の方の方がきつく、時間が多くかかることがあります。なかなか難しいことです。もうひとつ、開かずの踏切の問題があります。開かずの踏切を通っていますが、これは曜日や時間帯によっても違うために運行が難しいものがあります。

先程、遅延が少なくなったという話を頂いて嬉しく思いますが、20分以上遅延がおこるというのは反省点があると思います。

何かあった時や事故渋滞などがわかるように、GPSの機能、スマホなど通信系のものを利用するなど状況が解消されるようになると思います。

渋滞の対策はどこも一生懸命やっていますが、残念ながらこういうことがおきます。今まで十何回と遅延が起こっていたものが1回だけだったということをご利用いただいている方にも情報的にお知らせできるといいと思います。

(構成員)

追加資料の参考、運転免許自主返納について、27年度から28年度で倍くらいになるのではないかと思います。昨今の事故の関連で増えているのかと。一方でやはり、返納したあとの不安感があると思います。

警察さんの方でも時刻表などを置いていただければ、警察さんに相談があった時に

こういうふうに行けますよというご案内ができるのではないかと思います。そのような情報提供をしていただくと、また促進していくのではないかと思いますので、是非そういったところで警察さんとも調整していただけたらと思います。

(会長)

大変いいご提案をいただきました。署の方の窓口などで、あさび一号の時刻表などをお渡しすれば、少しでも不安が減るのではないかと思います。尾張旭だけでなく他のところでも、是非そういうものをお願いしたいです。免許を返納した時に自分の足はどうしたらいいかということになりますから、みんなで協働してサポートする体制をつくるのが大事だと思います。

(構成員)

名古屋タクシー協会の多田です。

運転免許返納の情報をご提供いただきましたので、タクシーの取組について少しご報告をさせていただきます。名古屋タクシーは、大半の事業者が70歳以上の高齢者1割引き運賃を実施しております。これは70歳以上の確認が取れたかたで、事前の登録制にはなっています。クレジットカード、ないしは紙式のタクシーチケットで運賃の1割引きを実施させていただいていますが、今タクシーの運賃改定の申請をしております、その運賃改定と同時に、一部の事業者ですが、運転免許証返納をされた方も割引を実施するという予定です。返納後の運転経歴証明書を提示すると少しお安くなる仕組みを導入する事業者も大手グループの1社です。そういったことも近く情報提供させていただけるかと思います。

これからの高齢化社会において、私どもタクシーの役割と考えていますので、少しでも事業者の取り組みが拡大するように協会を挙げて様々な体制を考えていきたいと思いますが、やはり、経営という問題も絡んできますので、すべてというわけにはなかなかいかないという事だけのご理解いただきたいと思います。

(会長)

安心して免許返納ができる仕組みができるといいと思います。

(構成員)

尾張旭市都市整備部長長江でございます。いつもお世話になっております。今日は熱心に議論いただきまして、本当にありがとうございます。この会の冒頭に事務局の方からお二方の新しいメンバーのお話がありました。私ごとで大変恐縮ではありますが、私につきましては実はこの3月をもって定年退職ということで今日のこの会議がおそらく最後ということになります。長い間、皆さん方にはお世話になりましてありがとうございました。

色々議論もされておりますが、私自身の記憶を思い返せば、平成16年からこの取

組に関わり、3台の試験運行をしたことや、ロングバス4台で平成20年度から本格運行、そして28年度、本年度ですが、色々拡充を図って、業者の方からも先程ご報告があったとおり、こんなにも多くの方々にご利用いただいて、本当に嬉しく思っています。

高齢化社会ですので、この取組は益々重要なものとなっていくと思います。今後とも皆様方、色々ご意見等を頂戴したいと思います。私自身はこの現場から去っていくこととなりますが、皆様方には今後益々のご活躍を祈念しております。どうぞよろしくお願い致します。本当に長い間ありがとうございました。

(会長)

試験運行の時代からずっと長くやっていただき、当初の事からすると夢みたいな数字が並んでいます。あさぴー号もご利用が増えてきて、皆さんの足に近づいてきたなど感じます。

名鉄さんにも新しい路線を新設していただき、少しずつですが、バスや、タクシーと、いろんな形でご利用しやすい仕組みになってきていますので、是非、色々な場で話題にしていただけるとご利用になられる方も増えてくるかと思えます。

それでは、これを持ちまして地域公共交通会議を終了します。